管内関係機関 担当者 様

感染症発生動向について

このことについて令和7年第45週(11月3日~11月9日)及び10月の動向をお知らせします。

定点あたり患者数(|医療機関当たりの平均報告数)

感染症の種類	県北保健所管	内(平戸市、松)	甫市、佐々町)	長崎県	全国	
念木征の性規	43週	44週	45週	45週	45週	
インフルエンザ	▲ 11.00	7.67	▲ 11.67	9.22	21.82	
新型コロナウイルス感染症	2.33	1.33	1.67	0.76	1.95	
RSウイルス感染症	1.50	0.50	2.50	0.71	0.88	
咽頭結膜熱	●6.50	●6.50	●3.00	0.48	0.23	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	1.00	3.00	1.84	1.97	
感染性胃腸炎	0.50	11.00	10.00	2.32	3.40	
水 痘	0.50	0.50	0	0.19	0.23	
手足口病	0.50	0	0	0.26	0.14	
伝染性紅斑	●2.00	●3.50	●2.50	●1.58	0.66	
突発性発疹	0	0	0	0.29	0.22	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0.03	0.09	
流行性耳下腺炎	0	0	0	0.03	0.03	
急性出血性結膜炎				0	0.01	
流行性角結膜炎				1.00	0.70	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.01	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.03	
マイコプラズマ肺炎	0	1.00	0	0.75	1.42	
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0.01	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0.01	

急性呼吸器感染症(ARI)	43.00	32.33	44.33	68.35	78.35

●:警報レベル ▲:注意報レベル

【トピックス】 インフルエンザを予防しましょう。

長崎県の第45週の報告数は470人で、定点当たりの報告数は9.22となりました。前週より増加し、注意報レベル基準値「10.0」に迫っています。地区別では、佐世保地区(16.14)、長崎地区(15.64)、県央地区(12.25)、県北地区(11.67)は、注意報レベルの報告数となっています。

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを原因とする気道感染症です。感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染と、飛沫等に含まれるウイルスが付着した手指で自分の眼や口、鼻を触ることによる接触感染があります。1日から3日間の潜伏期間のあとに38度以上の発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、関節痛などの全身症状が突然現れます。これに続いて咳、鼻汁などの上気道炎症が起こり、約1週間で軽快するのが典型的な症状です。

今後も手洗い・手指消毒、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策を励行し、予防に努めましょう。また、インフルエンザワクチンは、発症及び重症化を一定程度予防する効果があります。希望される方は、大きな流行に備えて、ワクチンを接種しましょう。

【トピックス】 感染性胃腸炎に注意しましょう。

長崎県の第45週の報告数は72人で、定点当たりの報告数は2.32でした。地区別にみると、県北地区(10.00)は他の地区より多くなっています。例年冬期に患者数が増加する傾向にあります。今後も動向に注意しましょう。

本疾患は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因はノロウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。手洗いの励行とともに、体調管理に注意して感染防止に努め、早めに医療機関を受診しましょう。

【トピックス】 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に注意しましょう。

長崎県の第45週の報告数は57人で、前週より11人多く、定点当たりの報告数は1.84でした。地区別では、県南地区(6.00)、佐世保地区(3.00)、県北地区(3.00)が多くなっています。

本疾患の好発年齢は5歳から15歳で、鼻汁、唾液中のA群溶血性レンサ球菌を含む飛沫などによってヒトからヒトへ感染します。また、食品を介しての経口感染もあります。潜伏期間は約1日から4日で、突然の発熱(高熱)、咽頭痛、全身倦怠感、時に皮疹もあります。症状がある場合は、早めに医療機関を受診するとともに、手洗いを励行し、感染防止に努めましょう。

長崎県感染症発生動向調査速報(月報)

2025年10月 2025年10月1日(水)~2025年10月31日(金) 2025年11月13日作成

☆疾病別・保健所管内別発生状況

(2025年10月)

	定点当たり患者数(県・保健所管轄別)										
疾 患 名	佐世保市	長崎市	壱岐	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	対馬	計
性器クラミジア感染症	7	7	-	4	7	- 1	- 1	-	-	-	27
(定点当たり報告数)	3.50	2.33	-	4.00	3.50	1.00	1.00	-	-	-	2.70
性器ヘルペスウイルス感染症	2	6	-	0	- 1	0	0	-	-	1	9
(定点当たり報告数)	1.00	2.00	-	0.00	0.50	0.00	0.00	-	-	-	0.90
尖圭コンジローマ	0	1	1	0	0	0	0	-	-	1	- 1
(定点当たり報告数)	0.00	0.33	-	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	-	0.10
淋菌感染症	0	0	-	I	0	0	0	-	-	-	- 1
(定点当たり報告数)	0.00	0.00	-	1.00	0.00	0.00	0.00	-	-	-	0.10
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	5	9	0	- 1	14	- 1	I	2	0	6	39
(定点当たり報告数)	5.00	3.00	0.00	1.00	14.00	1.00	1.00	2.00	0.00	6.00	3.25
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	ı	0	0	3	0	0	0	0	0	4
(定点当たり報告数)	0.00	0.33	0.00	0.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(定点当たり報告数)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

☆7疾患のグラフ













